

ごあいさつ



北名古屋市は、平成18年3月に誕生し、平成20年度からの10年間のまちづくりの指針として定めた「第1次北名古屋市総合計画」に基づき、着実に新市としてのあゆみを進めてまいりました。

全国的に人口減少が叫ばれる中、本市においては堅調に人口が増え、第1次総合計画で想定した85,000人を超えることとなりました。これは、名古屋都市圏に位置する地理的優位性もさることながら、市民の皆様の温かいご支援・ご協力により、快適さと豊かさを実感していただけるまちづくりを着実に進めてこられた賜物だと感謝しております。

しかし、この10年の間に本市を取り巻く社会情勢も大きく変化しています。本市の人口も近い将来ピークを迎え、減少に転じると予想されています。さらに、少子高齢化や近接する名古屋駅へのリニア中央新幹線の開業による影響、いつ起きてもおかしくないと言われる南海トラフ地震への備えなど、限られた財源の中で柔軟かつ的確な舵取りを迫られています。また、地方分権の進展に伴い、より地域に即した自立的な行政運営が求められ、行政のみならず市民・団体・事業所など、多様な主体が密接に繋がりながら自らの地域を運営していく仕組みづくりが喫緊の課題となっています。

こうした背景に立ち、今後10年のまちづくりの方向性を示す「第2次北名古屋市総合計画」を策定しました。計画の策定にあたっては、今までのまちづくりを土台としながらも、第一に、本市を取り巻く新たな課題に的確に対応し、市民の皆様と行政が今後10年の本市のめざすまちづくりを共有できる羅針盤とすること、第二に、市民協働の考え方により、市民・地域・団体・事業所等の役割を示し、市民協働の行動方針とすること、第三に、施策の着実な遂行と成果検証のため、進捗を測るための指標を設けることの三つを策定方針として取り組みました。この方針のもと、市民意識調査・市民活動団体へのヒアリング・市民ワークショップなどでの意見聴取、総合計画審議会委員の皆様のご熱心なご審議を経て、めざすまちの姿を、「健康快適都市」～誰もがいきいきと安全・安心に暮らせるまち～としました。

第2次北名古屋市総合計画の策定を新たなスタートとして、市民の皆様と行政が同じゴールをめざして協働してまちづくりを進めていくことで、子どもから高齢者までが、いきいきと安全・安心に暮らし続けることができるまちを実現することができると思いますので、今後とも市民の皆様のごより一層のご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。

2018年3月

北名古屋市市長 長瀬 保